



森に寄り添い 未来をつくる

トヨタの森
がっちゃん さん



HAIWA MARCHÉ

波岩マルシェ

杜若と地域とSDGs

名鉄学園杜若高等学校 文化祭企画
豊田市役所環境保全課 エコ企業取材班
環境の保全を推進する協議協議会

トヨタの森とは

1997年に豊田市の市街地から約8キロのところ「トヨタの森」としてオープンしました。コナラやアベマキなどを中心とした雑木林で、かつて生活必需品だった薪などを採取した「里山」のような環境を整備しています。東京ドーム9個分の広大な敷地は、多種多様な動植物の格好の住居にもなっています。



多様な生態系

「トヨタの森」には動物400種以上、植物は450種以上が生息しています。中には絶滅危惧種に指定されている希少な種も含まれています。「トヨタの森」では森をきちんと手入れし、森が持っている働きを失わないようにすることで、生き物たちを呼び込む「里山再生」を行いながら、その変化を調べ、結果を次の整備に生かしています。



巣箱の中には何がいる

カメラ付きの巣箱も設置されており、遠隔で巣箱の中を観察できます。巣箱は鳥だけではなく、様々な生き物たちが利用します。例えばムササビやハチなどです。時にはムササビをヘビが捕食する映像も映っていたそうです。スズメバチなどもむやみに駆除せず、距離を置くことで人間との共生が生まれているところもありました。森の中を歩くだけで、いろいろなことを学ぶことができました。



トヨタの森

mail@toyotanomori.jp

〒444-2225 愛知県豊田市岩倉町一本松1-1

☎0565-58-2736

取材 名鉄学園杜若高等学校
波岩マルシェ実行委員
河合 高橋 廣瀬

